西東京市第５次男女平等参画推進計画

お互いを認め合い 誰もが自分らしく輝けるまちに

西東京市では、2024年度からの5年間の第5次計画を策定しました。「人権の尊重」「男女平等参画」「多様性の尊重」の3つの視点を基本として、誰もがあらゆる場において、性別や国籍、性的指向・性自認などにかかわらず、平等に認め合える社会をめざします。男女平等推進センターパリテを拠点施設として、市民や事業者、関係機関・団体等が連携・協働して計画を進めていきます。

「西東京市第５次男女平等参画推進計画」は、こちらからご覧になれます

SDGsとジェンダー平等

ジェンダー平等とは、人が性別にかかわらず、平等に責任や権利や機会を分かちあい、あらゆる物事を一緒に決められることを意味します。国連サミットの行動目標であるSDGs（持続可能な開発目標）で、ジェンダー平等の実現は全体の目的の1つとなっています。

しかし、世界経済フォーラムが毎年公表する各国の男女格差を測る指標の１つ「ジェンダー・ギャップ指数」（男性に対する女性の割合）で、2024年の日本の順位は146カ国中118位。前年の125位よりランクが上がっているものの、先進国の中では最低レベル。健康分野のみ上位ですが、教育分野で前年47位から72位へ大きく後退し、経済分野と政治分野は男女不平等で低い順位が続いています。

世界のジェンダー・ギャップ指数2024

順位	国名
1	アイスランド
2	フィンランド
3	ノルウェー
4	ニュージーランド
5	スウェーデン
6	ニカラグア
7	ドイツ
14	イギリス
22	フランス
36	カナダ
43	アメリカ
87	イタリア
94	韓国
106	中国
118	日本

日本は…

118位

146カ国

経済 120位
政治 113位
教育 72位
健康 58位

「経済」と「政治」分野のスコアが総合順位を引き下げているわ

基本目標から重点課題を設定

「第５次男女平等参画推進計画」では、基本理念に対し、社会情勢の変化や市の状況等を踏まえて、「人権の尊重」「男女平等参画」「多様性の尊重」という３つの視点から、４つの基本目標を設定。社会に根付く固定観念の解消、女性の活躍とワーク・ライフ・バランスの推進、あらゆる暴力の防止など、それぞれ重点的に取り組む課題を設定しました。次のページで重点課題について解説します。

基本理念 お互いが認め合い、一人ひとりが個性と能力を発揮して自分らしく輝ける社会をめざす

視点

人権の尊重
私たちは、誰もが社会のあらゆる場において性別等にかかわらず人権が守られる社会をめざします。

男女平等参画
私たちは、男女間の格差を解消し、誰もがあらゆる分野に対等に参画して責任を分かち合い、活躍できる社会をめざします。

多様性の尊重
私たちは、誰もが国籍、性的指向・性自認等にかかわらず多様なあり方を尊重し、認め合える社会をめざします。

基本目標

基本目標 I
人権と多様性を尊重する意識の醸成
- 固定的性別役割分担意識の解消 ★
- 家庭・学校・地域における男女平等教育・学習の推進と人権意識の醸成
- 性的指向・性自認等の理解促進 ★
- 誰もが共に参画できる地域活動の推進
- 多様な視点による防災・減災のまちづくりの推進

基本目標 II
女性の活躍の推進とワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
- 経済活動における女性活躍の推進 ★
- 政策・方針決定過程への女性参画の促進
- ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
- 男性の家事・育児・介護への参画促進
- 子育てへの支援
- 介護への支援

（女性活躍推進計画）

基本目標 III
あらゆる暴力の防止と困難な問題を抱える女性への支援
- 配偶者等からの暴力の防止と被害者支援 ★（配偶者暴力対策基本計画）
- あらゆる暴力の防止（セクシュアル・ハラスメント、ストーカー、性暴力等）
- 生涯にわたる健康支援
- 様々な困難を抱える女性への支援（困難女性支援基本計画）

基本目標 IV
男女平等参画の実現に向けた推進体制の強化
- 庁内推進体制の充実 ★
- 男女平等参画推進計画 の進行管理

★マークは重点課題